

道大会の組合せに関する配慮事項について

【オールカテゴリー】

1. 北海道総合選手権大会

- 1) 4つのゾーンを考える。
- 2) シード権のある種別の上位チームが出場しない場合は、その種別の下位チームを繰り上げてシードする。
- 3) シード権のある種別が出場しない場合は、下位シードの種別を繰り上げてシードする。
- 4) 各種別の1位が一方の側に偏らないようにする。
従って各種別の2位が1位と反対側に配置し、3位は2位の側の別のゾーン、4位は1位の側の別のゾーンに配置する。
- 5) 各種別の1位が1回戦で対戦しないようにする。
- 6) 札幌地区以外はたとえ異なった種別でも、同一地区の1回戦の対戦は避ける。

※抽選を実施する際、上記事項を配慮事項とするが、すべてを満たせない場合は番号順に優先して配慮することとする。

※「種別」については、地域・オープン・大学・U18（高校）・専門学校とする。

【U18部会】

1. 全国高校選手権大会（ウィンターカップ予選）・高校新人大会

- 1) 標記大会独自の「組合せに関する申し合わせ事項」に準拠するものとする。
- 2) 出場チーム数に満たない場合は、高校選手権大会においては比例配分表の11番目以降、高校新人においては17番目以降に位置する配分枠を持つ地区により出場チームを補充する。

2. 全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウィンターカップ予選）並びに北海道高等学校バスケットボール新人大会組み合わせに関する申し合わせ事項

- 1) 本年度北海道高等学校総合体育大会（インターハイ予選）の上位4チームの所属する地区をシード（1、2、3、4）とする。（シード権の放棄はできない）
- 2) 同一地区は一回戦で対戦しないようにする。
- 3) シードを有する代表校は同一地区の出場チームとは2回戦まで対戦しないようにする。
- 4) 全国高等学校バスケットボール選手権大会は、一回戦に限り同年の全国高校総合体育大会（インターハイ予選）と同じチームの組み合わせにならないようにする。
- 5) 開催地区の1位は考慮する。

2009年4月1日より施行